

鹿児島国体・障スポの開催にかかる動向を受けた県の考え方について

1 鹿児島国体・障スポの開催にかかる動向等

時期	内容
5月12日(火)	<p>日本スポーツ協会および日本障がい者スポーツ協会が関係団体あてに以下のとおり通知を发出。</p> <p>(鹿児島国体・障スポは、スポーツ庁、鹿児島県、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会の4者で協議のうえ、6月中に開催可否を判断する。)</p>
6月11日(木)	<p>来年度以降の開催予定県(三重県・栃木県・佐賀県・滋賀県)で、関係機関に以下のとおりwebにより要望を実施。</p> <p>&lt;要望事項(概要)&gt;</p> <p>(1) 鹿児島国体・障スポの開催が困難と判断され、代替案を検討される場合、後催県に影響のない範囲での対応策を最優先で検討すること。</p> <p>(2) 仮に、延期が必要となった場合でも、様々な延期の選択肢があることから、後催県に最も影響が少ない対応策を導き出すこと。その際は、後催県の意見を聴取すること。</p> <p>(3) 万が一、1年延期など後催県に大きな影響を与える対応を行われる場合、県民への説明責任が生じることからその理由と、開催年をターゲットに準備を進めてきた選手への対応策や、市町、競技団体などの皆さんが納得できる支援策を示すこと。</p>
6月19日(金)	<p>日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会、スポーツ庁、鹿児島県は以下を発表。</p> <p>(鹿児島国体・障スポは、<u>今年の秋には開催しない。</u>)</p> <p>(鹿児島国体・障スポは、<u>延期とし、具体的な開催時期は引き続き調整・検討する。</u>)</p>
6月22日(月)	<p>日本スポーツ協会が通知を发出。</p> <p>(鹿児島県の両大会の開催時期について、来年秋以降に開催できるよう調整・検討を継続する。)</p>

2 県の考え方

- 延期の具体的な時期は引き続き調整とされるが、来年以降の開催県としては、施設整備や競技力向上対策のほか、競技会の準備や機運醸成など様々な取組を長期にわたり実施してきたところであり、開催準備への影響は大きい。
- 仮に、本県の両大会の開催年を1年遅らせるかたちの延期となる場合、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、スポーツ庁に対し、次のようなことを求める必要がある。
  - 県民や市町、関係団体等が納得できる説明
  - 開催年を目標に準備を進めてきた選手への対応策
  - 県、市町、競技団体等に対する支援策

参考

第2回 JSPO 国体発第50号  
令和2年6月22日

関係各位

公益財団法人日本スポーツ協会  
会長 伊藤雅俊  
(会印省略)

第75回国民体育大会(鹿児島県)の開催延期について

平素より当協会スポーツ推進事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、令和2年6月19日、当協会、スポーツ庁、鹿児島県、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の4者により、別添の通り合意いたしましたので、通知いたします。

なお、同大会の具体的な開催時期については、当協会としては、2021年秋以降に開催できるよう、引き続き、調整・検討を継続することとし、改めてご連絡申し上げます。

以上

【本件に関する問合せ先】

国体推進部国体課

TEL: 03-6910-5808

E-mail: kokutai@japan-sports.or.jp

令和2年6月19日  
公益財団法人日本スポーツ協会  
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会  
文部科学省・スポーツ庁  
鹿児島県

第75回国民体育大会並びに第20回全国障害者スポーツ大会の  
取扱いについて

第75回国民体育大会（以下「鹿児島国体」という。）並びに第20回全国障害者スポーツ大会（以下「鹿児島大会」という。）の取扱いについては、以下のとおりとする。

1. 鹿児島国体及び鹿児島大会は、今年秋には開催しない。
2. 鹿児島国体及び鹿児島大会は延期することとし、具体的な開催時期については、可能な限り早期の結論を得るべく、引き続き、調整・検討を継続する。